

ならしの 習志野教育だより

発行・編集 習志野市教育委員会 ☎ 047-451-1151（代表）

Narashino Municipal Board of Education

児童生徒の安全・安心のために

第二中学校 訓練の様子



第一中学校 訓練の様子



「スケアード・ストレイト教育技法」とは事故の恐怖を直接見せることで、危機感をもたせる教育技法です。写真はプロのスタントマンによる実演ですが、一歩間違えれば誰もが当事者になる怖さを実感する良い機会となりました。また、自転車の乗り方についても学びました。2026年4月1日から16歳以上の運転者が対象となる「青切符（交通反則通告制度）」が導入されました。今後に向けて安全で正しい乗り方や危険予知について考え、一人ひとりが交通ルールを守る意識を高めました。
（文責：学校教育課 中川）

Contents

令和8年度は、第一中学校と第二中学校で「スケアード・ストレイト教育技法」による交通安全教室を行いました。（第六中学校は10月に行う予定）この取り組みは、3年間で中学校7校が1回ずつ実施できるように計画を立てています。他の小・中学校では、交通安全教室を実施しています。

習志野教育だより第152号では、児童生徒の安全・安心に関する取り組みを中心に紹介します。

（文責：教育総務課 河野）

・児童生徒の安全・安心に関する取り組み	P1～2
・小学校陸上記録会 運動会・体育祭（第七中、大久保東小、第四中）	P3
・習志野っ子の活躍（表敬訪問） 習志野市小・中管楽器講座	P4
・歩け歩け大会、オービックシーガルズ開幕戦 第51回少年野球春季大会 第29回小学女子ソフトボール習志野大会	P5
・市民カレッジ開講式、芸文協芸術祭アロハフェスティバル フレンドシップコンサート	P6
・小・中学校初任者教員研修 フレンドあいあい、市長講師による租税教室	P7
・習志野高校ニュース、教育長コラム	P8

第 152 号
2026年7月

テーマ

「児童生徒の安全・安心に関する取り組み」

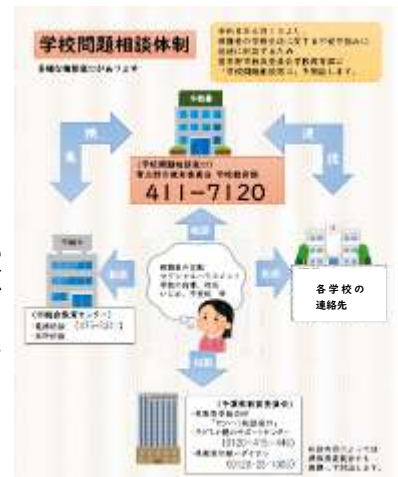
【習志野市ホームページ】 習志野教育だよりはここからご覧いただけます



児童生徒の 安全・安心のための取り組み

新設：学校問題相談窓口

今年度より、学校生活に関して気になることや心配なことがあるときに、より相談しやすい環境を整えるため、教育委員会内に「学校問題相談窓口」を新設しました。学校での勤務経験をもつ職員が相談をお受けし、状況を早い段階で把握することで、迅速に適切な対応につなげることを目的としています。学校に相談したいけれど伝え方に迷うときや、誰に話せばよいか悩む場面など、相談の入り口に迷う際にもご利用いただけます。お寄せいただいた内容は、必要に応じて学校とも共有しながら、お子さまや保護者、教職員を支援してまいります。（相談窓口）学校教育課 ☎047-411-7120 平日 8:30～15:30



キラット・ジュニア防犯隊結団式

6月13日にキラット・ジュニア防犯隊結団式が市庁舎にて行われました。キラット・ジュニア防犯隊は、市内小・中学生で構成され、1年を通して、自転車防犯診断や街頭啓発キャンペーンなど、市民の方へ防犯に対する意識向上を図るための活動をしていきます。



安全主任等地区別研究協議会

4月23日、市内小中学校の安全主任等が参加する「地区別研究協議会」がオンラインで開催されました。当日は、千葉県警察本部交通部交通総務課から「交通安全指導のポイント」をご講義いただいたほか、令和7年度学校安全教育推進委員による実践発表が行われました。発表では、本市からは第六中学校の後藤 卓先生が「防災～横断的に自助・共助・公助を学ぶ～」について、同じく永野 瞳先生が「家庭科における防災・減災授業の実践」について発表しました。

通学路安全対策協議会

今年度も教育委員会が事務局となり、習志野警察署交通課・生活安全課、習志野市役所道路なおす課、くらし安全課、青少年センター、各学校教頭を委員とした通学路安全対策協議会を開催しました。1回目は委員の委嘱状交付の後、通学路点検の仕方や安全指導について確認を行いました。2回目は各学校区の通学路合同点検、3回目に点検結果と対策の進捗について報告を行います。



青少年補導委員委嘱状交付式

今年度は、新たに61名の方に委嘱状を交付し、総勢109名の青少年補導委員の皆様にご活動いただくこととなりました。

補導委員の皆様には、午後と夜間に各学校区を巡回しながら、児童生徒に声かけをしていただきます。パトロール等で話しかけていただく「愛のひと声」は、時にこどもたちの非行防止や、立ち直りの大きなきっかけとなります。今後も補導委員の皆様と連携を図りながら、パトロール活動を継続してまいります。



小学校陸上記録会～目指せ新記録～

5月19日に小学校陸上記録会が実花小学校・香澄小学校・谷津南小学校の3会場で行われ、各小学校の6年生が参加しました。どの会場でも、競技に参加する全児童へ向けて応援する声が響き、暑さに負けない盛り上がりを見せました。児童一人ひとりが各種目（50m走、100m走、60mハードル走、4×100mリレー、走高跳、走幅跳、1230m走）で練習の成果を発揮しようと全力を尽くす姿が見られました。



谷津南小会場



香澄小会場



実花小会場

運動会・体育祭～勝利を目指して～



5月16日 第七中学校 スローガン「勇猛精進」

体育祭実行委員として、準備から本番まで仲間と協力し、全力で取り組みました。大変なこともありましたが、全員で成功させることができ、大きな達成感を得ることができました。また、仲間の大切さや協力することの大切さを改めて実感し、とても良い経験になりました。この経験を学校生活にも活かし、仲間と支え合いながら、さらに成長していきたいです。（体育祭実行委員長 神門 新さん）

5月23日 大久保東小学校



「運動会で手に入れたもの」

私は、小学校生活最後の運動会で応援団長という、とても大切な役をやらせていただきました。運動会当日は、応援の時にどの学年も気持ちが一つになって、応援団のかけ声で動く姿を見て、今までの練習は無駄ではなかったと感じられ、悔いの残らない最高の運動会になりました。関わってくださった全ての人に感謝したいです。（赤組応援団長 林 摩季さん）



6月6日 第四中学校 スローガン「Here 勝 (Win) go～四中魂のその先へ」



私にとって今年の運動会是一生忘れることのない最高の思い出になりました。団長は物凄く大変で悩むこともたくさんありましたが、赤組が2冠を獲得し皆で喜び合った瞬間や、最後に各組がお互いを称え合う姿、そして皆が楽しんでいる姿を見て団長としてこの運動会に携われてよかったと心から感じました。赤組の団長としてこの運動会を赤組の皆とともに走りぬくことが出来たことは私にとって一番の誇りです。（赤組応援団長 高橋 かな）

習志野っ子の活躍

習志野市出身オートレーサー

佐藤 励 選手・佐久間 健光 選手 表敬訪問



6月18日に習志野市出身のオートレーサー、佐藤 励（さとう れい）選手と
佐久間 健光（さくま たけみつ）選手が表敬訪問に来庁されました。（文責：教育総務課 河野）

佐藤 励 選手

（鷺沼小学校・第三中学校卒業）

4月29日に行われたSG第45回オールスターオートレースで大会連覇を達成しました。湿走路の難条件でも圧勝し、SG通算3度目の制覇となりました。

佐久間 健光 選手

（東習志野小学校・第四中学校卒業）

伊勢崎所属のベテラン実力派オートレーサーです。5月9日の行われたGI会場記念ゴールデンレースにて1着となりました。



習志野市小・中管楽器講座

4月25日に、東習志野小学校において第23期習志野市小学校管楽器講座、習志野高校において第8期習志野市中学校管楽器講座の開講式がそれぞれ開催されました。

本講座は、習志野市管楽器教育研究会が主催し、習志野高校吹奏楽部の生徒が市内小・中学生に対して演奏指導を行うものです。受講者は技術の向上を図るだけでなく、学校の枠を越えた仲間との交流を通して、音楽活動への意欲を高める機会となっています。

今年度は、小学生約200名、中学生約110名が受講しており、月1回程度の講座を実施する予定です。日頃の練習の成果については、3月に開催される「ならしの学校音楽祭」において発表する予定となっています。

（文責：学習指導課 紫芝）



歩け歩け大会

6月7日に第45回オール習志野歩け歩け大会を開催しました。当日は、総勢124名が参加し、4kmのくじらコースと8kmの花ショウブコースを爽快な汗をかきながら歩きました。大会後には、「本当に楽しかった!」と話す方を多く見かけました。また、ゴールにて記念撮影を行う方も多く、参加者の皆様にとって思い出となる1日になりました。大会を運営するにあたり、習志野市スポーツ推進委員の皆様にご協力いただきました。

(文責：生涯スポーツ課 武蔵)



オービックシーガルズ Xリーグプレミア開幕戦

5月3日に東京ドームでオービックシーガルズがXリーグプレミア開幕戦を戦いました。今年新設された、11チームによる最高峰カテゴリー「Xリーグプレミア」。初戦の相手は、昨季ライスボウル(決勝)で惜しくも敗れたパナソニックインパルス。前半は6-20でリードを許しましたが、全員が最後まで集中を切らず21-20で逆転勝利を収めました。この勝利に続き、今後第一カッターフィールドで行われるホームゲーム3試合も勝利を目指します。習志野から日本一を目指すオービックシーガルズと一緒に応援しましょう!

(文責：生涯スポーツ課 小椋)



第51回少年野球春季大会

5月3日に、第一カッター球場等で第51回習志野市少年野球春季大会が開催されました。天候に恵まれ、選手たちは熱戦を繰り広げました。向山ファイターズの續 奏生(つづき そうせい)さんによる力強い選手宣誓で幕を開け、各チームが最後まで全力プレーを見せた結果、習志野フェニックスが見事優勝を果たしました。

(文責：青少年センター 河村)

優勝チーム 習志野フェニックス 主将
尾古 佑斗(おこ ゆうと)さん 優勝コメント
「チーム一丸でつかんだ優勝です!支えてくれた方々へ感謝し、県大会では一つでも多く勝てるよう全力で戦います!」



優勝：習志野フェニックス



準優勝：実籾・袖ヶ浦連合

優勝：習志野フェニックス
準優勝：実籾・袖ヶ浦連合
第3位：習志野ペイドリームス
第3位：津田沼少年野球団

第29回小学女子ソフトボール習志野大会



5月10日に第29回小学女子ソフトボール習志野大会が開催されました。他市から3チーム、習志野市からは先日行われた県大会で優勝し、7月に行われる全国大会に出場する「習志野スーパーガールズ(市内4チーム合同)」が出場し、大会はこの4チームによる総当たり戦で行われました。習志野スーパーガールズは昨年度に続き準優勝となりましたが、選手たちは技術とチームワークをさらに磨き、全国大会に向けて大きな自信を得る大会となりました。

(文責：生涯スポーツ課 武蔵)

優勝を逃してしまい、悔しいです。もっとみんなで声を掛け合い、チームワークを強くして、全国大会で頑張りたいです。
習志野スーパーガールズ キャプテン 村山 菜緒(むらやま なお)さん

市民カレッジ開講式

5月14日に令和8年度習志野市民カレッジ開講式が、市民ホールにて行われました。今年度は、新たに41名が入学し、2年目となる受講生30名とともに新年度の学びをスタートしました。

新入生代表挨拶では、「これから始まる市民カレッジでの2年間の学習をとおして、習志野についての理解を深めるとともに、わがまち習志野への愛情を育んでいきたい」との抱負が述べられ、会場には新たな学びへの期待感が広がりました。

今年度もさまざまな講義や活動を通して、地域への理解や交流がさらに深まる一年となりそうです。



芸文協芸術祭アロハフェスティバル

5月17日、習志野市芸術文化協会主催の「アロハフェスティバル」が開催されました。当日は多くの来場者でにぎわい、フラダンスやハワイアンバンドによる演奏など、多彩なステージが披露されました。出演者の皆さんは色鮮やかな衣装と華やかなパフォーマンスで会場を盛り上げ、リズムに合わせた軽快な踊りには、客席から大きな拍手が送られました。会場は南国の風を感じる温かな雰囲気にもまれ、「ALOHA」に込められた思いやりや調和の心を感じられる催しとなりました。



フレンドシップコンサート

6月20日、第三中学校にて「フレンドシップコンサート」が開催されました。開会セレモニーでは、小中学生による合同演奏「鉄腕アトム」が力強く息の合った演奏で来場者を魅了しました。続くコンサートでは、袖ヶ浦こども園のこどもたちが元気いっぱい「ソーラン節」を披露。さらに、各小学校の音楽部・金管クラブが親しみやすい曲をのびのびと演奏しました。第三中学校吹奏楽部の演奏が最後を飾り、豊かな表現力で観客を引き込み、世代を超えて楽しめる、心あたたまるコンサートとなりました。



小・中学校初任者教員研修

5月1日に習志野市庁舎にて、小・中学校初任者教員研修を開催しました。当日は、宮本泰介市長を講師としてお招きし、「習志野市と今後の心構え」をテーマに御講話いただきました。講話では、習志野市の歴史や特色、地域への思いに加え、「基本を大切にすること」や健康管理の重要性など、教職員としてだけでなく社会人としての在り方についてもお話しいただきました。

講話後には、初任者38名を代表して、実花小学校の友常雅音教諭が謝辞を述べ、今後の抱負と決意を力強く発表しました。
(文責：総合教育センター 辻本)



実花小学校 友常 雅音 教諭 謝辞

初任者教員を代表しまして、一言お礼を申し上げます。本日は私たち初任者教員のために、このような貴重な研修の機会を設けていただき、誠にありがとうございました。私は習志野市に生まれ育ち、幼稚園から小学校、中学校、高校に至るまで、多くの先生方や地域の皆様に温かく支えていただきながら成長してまいりました。その長い年月の中で受けたご指導やご厚情は、今の私の礎となっております。このたび、そのような自分を育ててくださった習志野市で、教員として子どもたちの成長に関わることができることを大変うれしく、また、身の引き締まる思いで受け止めております。これまでいただいたご恩に報いることができるよう、日々研鑽に励み、一人一人の児童生徒に真摯に向き合い、信頼される教員となれるよう、誠心誠意努めてまいります。結びに、本日ご指導いただきました習志野市長宮本泰介様に心より感謝申し上げるとともに、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

習志野市総合教育センター ～フレンドあいあい～

「フレンドあいあい」とは

(文責：総合教育センター 矢野)

いろいろな理由で学校に行くことができない子どもたちのために作られた習志野市の適応指導教室です。

どんな活動をしているの??

各自が持参した課題に取り組む学習時間や体育活動(週1回東部体育館)、書道教室(月1回)、タブレット学習(月1回)、英語活動(学期に1~2回)、鹿野山自然体験教室(1泊2日)を行っています。学習時間以外は、グループワークを行ったり、読書やパズルなど、好きなことに取り組んだりする時間もあります。

どこに設置されているの??

東習志野こども園の敷地内に併設された「こどもセンター」の2階にあります。室内には、学習室、プレイルーム&キッチン、和室、室外には広いバルコニーがあります。



☆プレイルーム☆



どうやって利用するの??

直接「フレンドあいあい」(047-471-1236)に電話をします。

面談・見学・体験をした後、入級となります。

※電話がつかないときは、習志野市総合教育センター教育相談(047-475-8341)へ

租税教室(藤崎小)

6月24日、藤崎小学校の6年生が租税教室で税について学びました。当日は、宮本泰介市長を講師にお迎えし、習志野市の公共施設にかかる費用を例に、税の役割についてわかりやすく説明していただきました。宮本市長は児童に、

「夢をもって豊かな人生を歩んでください」と語りかけ、納税の意義だけでなく、夢をもって活動することの大切さについても触れられました。代表児童の西澤 芽生(にしざわ めい)さんからは「身近なところに税金が使われていることや、自分たちが多くの人に支えられていることがわかりました。その支えに感謝して、大人になったらしっかりと税金を納めたいです。」との謝辞が述べられ、児童たちが税への理解を深めた様子が見られました。習志野市では今後も、税に対する理解を促進する取り組みを継続してまいります。

(文責：学習指導課 鷹野)



新年度スタートから3カ月経過しました。ある1年生に聞いてみると「勉強はたいへんだけど、友だちと一緒に過ごせて毎日楽しいです」「先輩に教えてもらえて、部活動のことも覚えてきました」と話してくれました。上級生は「自分が先輩方から教えてもらったことを後輩へ伝えたいです」「インターハイ出場します!」と皆それぞれが意欲に満ち満ちています。主体的に勉強や部活動等課題に取り組み、充実した学校生活を送れるよう生徒たちは、精一杯努力しています。ここ習志野高校で夢を叶えるために仲間と力を合わせ、それぞれが掲げた目標に向かって新たに走りはじめました。6月に実施された関東大会の結果は以下のとおりです。温かい御声援をありがとうございました。

【関東大会出場実績及び大会結果】

- ボクシング部 バンタム級 片岡 未来 (優勝) フライ級 三代川 元利 (準優勝)
 女子ピン級 片岡 寧音 (3位) 女子フライ級 渡邊 名那佳 (3位)
 女子ライト級 阿部 七海 (3位) ライトフライ級 板谷 宙 (3位) フライ級 小泉 大翔 (3位)
 ウェルター級 菊池 涼太 (3位) ライト級出場 西岡 修斗、伏見 蓮音
 ○弓道部 (男子) 団体ベスト8 個人出場 松永 航 ○柔道部 (男子) 団体出場
 ○体操競技部 (男子) 団体10位 個人出場 笠木 越宇
 ○体操競技部 (女子) 個人 内田 奏那 (総合10位)、宮澤 あずさ、萩尾 明咲、
 ○ソフトボール部 出場 ○男子バスケットボール部 出場 ○カヌー部 (特設部) 出場
 ○男子バレーボール部 5位 ○女子バレーボール部 出場

ボクシング部



男子バレーボール部



弓道部



～ 好きです ふるさと習志野 ～

教育長コラム

教育活動において「生徒指導」という概念があります。一方で、小学校では「児童」、中学校では「生徒」と呼び分けられているにも関わらず、「児童指導」という概念はありません。さらに、生徒指導という言葉が、生徒の問題行動への対応(かつて中学校の生徒指導の先生は怖かった…!?)というイメージに引っ張られ、中学校での問題と捉えられがちでもありました。そもそも生徒指導は、一部の児童生徒の問題行動に対応するだけではなく、全ての児童生徒の自己実現を支える教育活動です。さらに、社会の一員としての自立した力を育み、より良い行動を選択できるようにする(自己指導能力)大切な機能でもあります。とはいえ、いわゆる問題行動だけでなく、いじめ、不登校の問題など、現代社会特有の課題は、学校種、年代を問わず発生しており、学校は日々その対応に追われています。そこで、教育委員会では、このような問題に専任で対応できる「児童生徒指導課」を本年4月にスタートさせることとなりました。(従前の指導課を学習指導課と児童生徒指導課に変更) 実際、この3カ月、担当の指導主事は、様々な問題の発生に対して、現場に足を運び、丁寧に情報収集をしながら、学校や先生方にアドバイスをしています。そのことによって、問題の早期解決や関係機関への速やかな連携につながられています。ただ、児童生徒指導課の指導主事は教員出身者です。生徒指導上の問題を解決することは学校を支えることであり、使命感を持って取り組んでいます。対応の厳しい問題を扱うことも事実です。本音を言えば、得意の学習指導に関われればという気持ちも持っているはず。いつの日か、生徒指導の機能を生かした授業や教育活動を考えることがメインとなる児童生徒指導課にしたいものです。(教育長 小熊 隆)